

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立本田	学校	児童数	121
--------	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.50	20.36	31.38	35.33	37.52	9.53	145.62	19.97	49.61
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.49	17.44	38.30	31.54	24.04	10.14	121.77	11.30	47.64
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

体力合計点では、男子で全国平均より約2.9ポイント、女子で約6.3ポイント低く、男女ともに大阪市平均からも下回る結果となった。特に、反復横とびでは、全国平均よりも男子は約5.3ポイント、女子は約7.2ポイント低い。20mシャトルランでは、全国平均よりも男子は約9.4ポイント、女子は約12.6ポイント低かった。児童質問紙項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答については、最も肯定的に答える児童の割合は、男子では約81%、女子では約63%となり、男女ともに大阪市平均、全国平均の値を上回る結果であった。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子では約9%、女子では約14%となり、大阪市平均、全国平均の値よりも低いことが分かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、体育科の学習を通じて児童が運動を楽しみながら取り組むことができる環境を整えてきた。しかし、体力測定の結果から男女ともに全国・大阪市平均を下回る傾向があり、特に女子の運動時間の不足が大きな課題となっている。そのため、運動習慣の定着、持久力・瞬発力の向上を重点的に取り組んでいく。

まず、体育科の授業をさらに工夫し、児童が運動を楽しみながら取り組むことができるようにする。遊びの要素を取り入れた体づくり運動を継続し、成功体験を積み重ねることで、運動への意欲を高める。また、持久力向上を目的とした鬼ごっこやリレー、タグラグビーなど、長時間動き続ける活動を増やし、基礎体力の向上を図る。さらに、運動が苦手な児童にも配慮し、個々のペースに合わせた取り組みができるよう支援を強化する。

次に、授業外の運動機会を増やし、日常的な運動習慣を定着させる。休み時間や放課後に運動しやすい環境を整える。また、これまで実施してきた「わくわくスポーツタイム」などの活動を継続し、多くの児童が自然に体を動かせる機会を増やしていく。

今後も、「できる喜び」「わかる楽しさ」を大切にしながら、児童の基礎体力向上と運動習慣の定着を目指し、積極的に取り組んでいきたい。